

2021年1月4日

認定機関、認証機関殿

主題: COVID-19: OASISデータベースの使用方法

## COVID-19: OASISデータベースの使用方法

このコミュニケーションの意図は、「IAQG OPMT Notice for Accreditation Bodies and Certification Bodies concerning Novel Coronavirus - COVID-19 alleviations」を補足するためのものである。IAQG OPMT通知で提供された軽減策を実施するために、OASISデータベース上で下記に示されたいくつかのアクションを行う必要がある。

注記: このコミュニケーションは、「COVID-19により影響を受ける期限切れ認証文書の特定」のセクションに記載されていた誤解を招く文章を削除し改訂した。

### Audit Duration Calculator (ADC)及び審査報告書

この指示は、COVID-19に関連する問題のために認証機関が仮想審査を実施しなければならない場合、および2020年の審査で計画されていた審査工数の一部を延期し、審査工数を2021年の審査に移行しなければならない場合に適用される。2020 審査に関する、ADC 注記およびOASIS 様式 5 の9101審査報告書において、認証機関は以下の事を行う。

- ・ 審査日数と延期された活動を記録する。
- ・ 延期理由を具体的に記載する。  
注:「COVID-19」などの記述は、この指示を満たすのに十分ではない。延期についての具体的な理由を文書化すること。

### COVID-19により影響を受ける期限切れ認証文書の特定

認証機関は、以下の事項について認証文書の修正を開始するものとする。:

- ・ コード[IAF-ID3]をOASISデータベース中の既存の認証文書番号に追加する(発行および適用される再発行日は変更しない)。
- ・ 修正された認証文書をOASIS上で発行する。  
注:以前にアップロードされている認証文書の変更は必要としない。

認証文書を変更するための指示は、OASISヘルプとガイダンスを参照。:

<https://oasishelp.iaqg.org/wp-content/uploads/2016/05/9-OASIS-NG-CB-CertificateModification-V3.pdf?1584721510085>

## 復活の方法

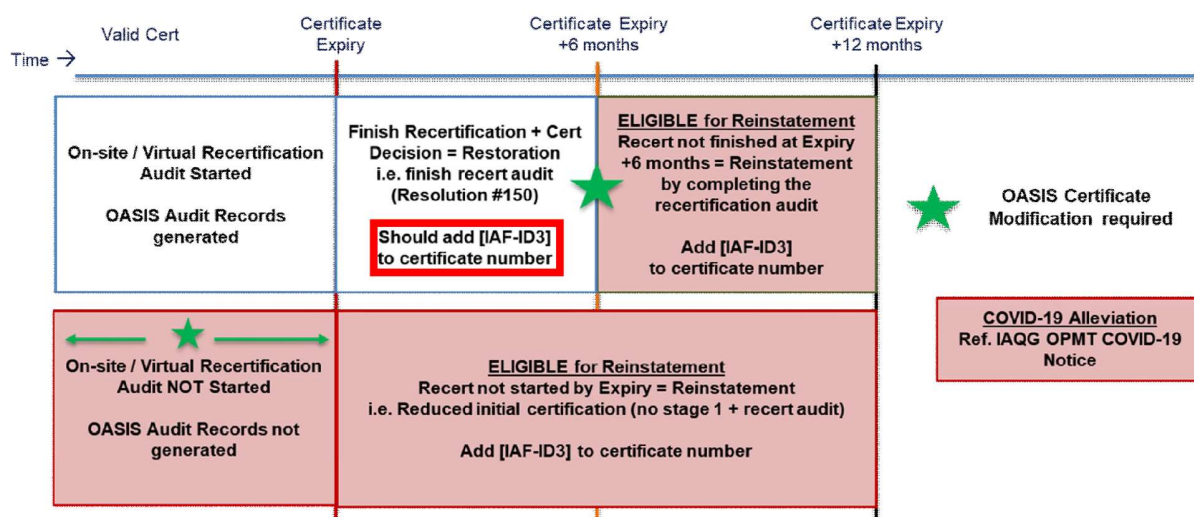
再認証審査がすでに開始されており、期限切れ後6ヶ月以内に認証文書が復帰されない場合は、再認証審査を継続し、期限切れ後12ヶ月以内に認証の決定を行い、発行することができる。

再認証審査が開始されていない場合、「復活」を開始するために、OASIS初回認証審査記録が必要である。加えて:

- OASIS 9101 様式 1, ステージ 1 審査報告書 Box 10 'Proposed Certification Scope' には、「ステージ1審査は、IAQG OPMT Resolution #157 に従い実施されていない」という記述が含まれるものとする。

## 認証文書の期限切れ、復帰及び復活の例示

以下の図は、認証文書の有効期限の復帰および復活に関連するプロセスを示す。



## OASISにICTを使用したリモート審査 審査工数を入力する方法

審査されるサイトにおいて物理的に少しの審査も行われない場合、OASISデータベースに記録する現地審査工数は、0.0 daysと記録しなければならない。

ICTを使用したリモート審査の審査日をOASISに記録するために、認証機関審査入力管理者は、Supplier visitを以下のように設定するものとする:

Supplier Site	Visits	Auditor	Start	End	Onsite	Offsite
OIN: 6151366626 ■ Central Function Demonstration Supplier (11) 123 Some Street, Somewhere, AZ 88555, United States 50 Employees	1	Demonstration, Auditor (Americas)	03/23/2020	03/25/2020	0.0	3.0

そして、「the Audit Details ICT and in the Total Audit Days」フィールドに、ICTを利用したリモート審査(下記の例ではYes)とオフサイト工数(下記の例では3.0)を、それぞれ入力しなければならない。

Certificate Structure Type (CST)	ASRP	ICT
Single Site	No	Yes
Total Audit Days	Audit Start Date	Audit End Date
3.0	03/23/2020	03/25/2017

審査チームリーダーは、下記の通り様式5 box 5に Onsite Audit Daysに0.0を記入するものとする:

9101 Form 5: Audit Report				
Audit Type	Audit Start Date	Audit End Date	On-Site Audit Days	Report Date
Surveillance	03/23/2020	03/25/2020	0.0	
Report Number				Report Date

上記により、審査チームリーダーは審査を承認することができる。

私たちは上記の手順がOASIS中のいくつかのレポートとエリアにインパクトを与える(表示がエラーとなる)ことを認識している;主に“the Certified Supplier Directory”, “the Supplier Summary Download”, “Manage Audits, and the Auditor Audits Report”に影響がある。

認証機関(CB)は、IAQG OPMT COVID-19通知にはリスク分析/軽減の要件も含まれており、関連する認定機関(AB)に6ヶ月間先の計画を提出することに留意する。

IAQGは、継続的なコミュニケーションに引き続きコミットし、必要に応じて上記の最新情報を提供する。

OASISの問題が発生した場合、IAQGの支援部門に連絡すること。 [IAQGsupport@sae.org](mailto:IAQGsupport@sae.org) またはOASIS セクター代表:

- 米州 - Becky Lemon [rebecca.lemon@sae.org](mailto:rebecca.lemon@sae.org)
- アジア・太平洋 - 前畑貴芳 [takayoshi.maehata@sjac.or.jp](mailto:takayoshi.maehata@sjac.or.jp)
- 欧州 - Ian Folland [IFolland@iaqg.org](mailto:IFolland@iaqg.org)

Sincerely,

IAQG Database Team